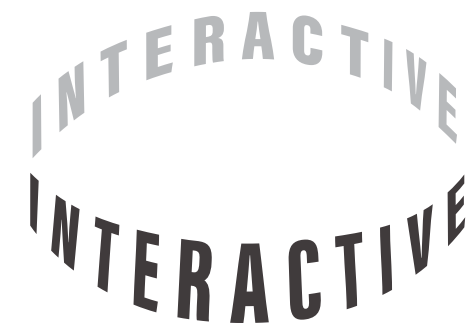


セカイを変えよう

*Interactive Program for
Spirit of Enterprise
in Global Contexts*



ピース



インターラクティブ



学長からのことば



学長 佐野 輝

世界では、自然環境、産業、経済、社会、文化などあらゆる分野において急速な変化が起きています。そして、その変化は国境を越えて互いに強い関わりを持っています。今や、人類にとってその生存を脅かす種々の問題が、一つの国家単位では対処できない全地球的な規模で生じていると言っていいでしょう。鹿児島大学ではその教育目標の一つとして、「グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む」と謳っています。国際的な広がりを見せる問題を解決するためには、若い世代の人々が、異なる価値観が交錯する状況で幅広く多様な知識と経験を積み、国内外を問わず他者と協力して柔軟に行動できる力を身につけることが望まれます。鹿児島大学の多くの学生諸君に海外連携機関との双方向交流や協働学習を主とする「進取の精神グローバル人材育成 双方向交流プログラム」に参加いただき、グローバルなレベルで困難に挑戦し、成長するヒントを掴んでほしいと思います。

P-SEG Interactive 始動

P-SEG の呼称で親しまれてきた「進取の精神グローバル人材育成プログラム」は、双方向交流をコンセプトに P-SEG Interactive へと進化しました。Interactive とは、海外連携機関のパートナーと共に学び合うことを意味しています。プログラムでは、海外での研修（派遣）や鹿児島での実習（受入）、その事前・事後学習、語学学習、留学、インターンシップ等を行い、グローバル社会で活躍するために必要な能力を身につけていきます。海外には日本では学べない様々な取り組み、深刻な問題に向き合うチャレンジ精神、日本では気づかない考え方や価値観、人と人との関係などが存在します。例えば、ヨーロッパや中東における宗教や文化の多様性、北米におけるビジネスとイノベーション、発展途上国における貧困や環境問題と先進国の経済のつながりなどは、実際に現地を訪問してグローバルな視点で眺めない限り理解が難しく実感もできない問題です。また、海外連携校の学生とともに鹿児島で行う実習は、彼らの視点で日本や鹿児島を見直し、これまで見えていなかった問題や可能性を発見することにつながります。P-SEG Interactive は、学生の皆さんに国際協働学習を通じて、21世紀の社会が抱える様々な課題に対して向き合い、考え、立ち向かっていける「進取の精神」をグローバルなレベルで身につけてもらうプログラムです。社会に出て活躍したい、国際的な環境で研修をしたい、多様性に富んだ豊かな地域づくりに貢献したいなど、様々な夢を持つ学生の皆さんに本プログラムを受講してもらいたいと思います。



1 P-SEG Interactive 概要

P-SEG Interactive は、海外のパートナー機関と協働で実施するプログラムです。鹿児島大学から海外への学生派遣と、海外連携校からの学生受入を中心に、その前後に行うオンラインを活用した国際協働学習や研修成果報告会など、参加者が双方向に交流するための様々な活動を用意しています。P-SEG Interactive の各プログラム実施において、本学が連携している機関は、タイ、韓国、中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、米国、ブラジル、欧州や中東等にあり、それぞれの研修内容や目的に応じて参加することができます。また、各プログラムは学年に応じて段階的に参加できるよう配置されています。まず、1-2年生を対象に共通教育科目として開講されている海外研修は、異文化理解や批判的思考力の育成を目的としています。次に、高度共通教育科目として2年生以上を対象に開講されている海外インターンシップや留学プログラムがあります。ここでは、コミュニケーション力に加えて、自ら行動する力が重要になります。また、学部専門科目もしくは大学院科目として開講されている海外研修では、課題を見出すだけでなく、実際に海外パートナーと連携しながら専門的な知識を用いてリサーチを行い、課題解決を目指します。



P-SEG 登録



グローバルに活躍!

2 Global Competency の育成

鹿児島大学がめざすグローバル教育は、多様で誰一人取り残さない豊かな世界を構築するために、一人一人に必要な能力を育成するものです。コミュニケーション力や論理的思考力、高度な専門的知識はむろんのこと、生まれも育ちも異なる他者の「生」に共感する力も必要です。こうした能力 (Global Competency) はどのように身につけることができるのでしょうか? 本プログラムでは、上述の教育目標に沿って育成する具体的な力を以下のように定め、その育成に取り組んでいます。

Global Understanding

自己の立脚する歴史と文化の価値を深く認識すると共に、他国の文化やその独自性・多様性を尊重し、自国を相対的に捉えることができる。

Global Exploration

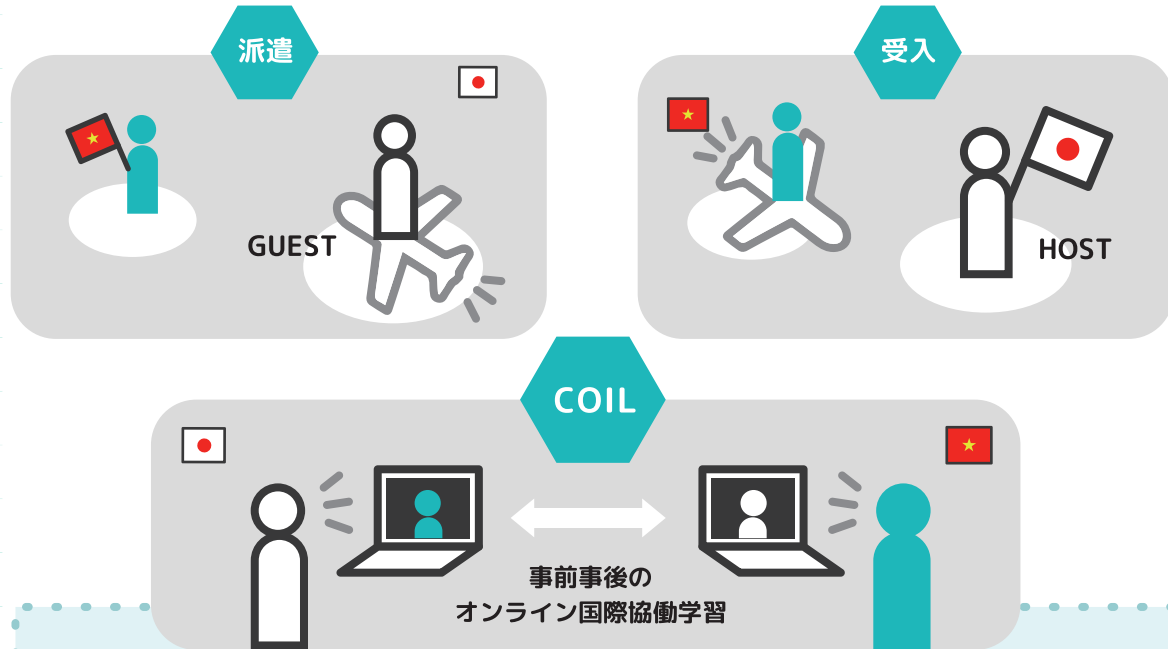
グローバル化する世界の現状を認識し、多文化的状況や急速な文化変容、異文化の交錯に適応すると共に、困難な問題に立ち向かい、既存の価値観を超えた柔軟な判断により解決策を提案できる。

Global Actions

多文化的状況において自立して行動し、母国語と外国語で意思を明確に伝えると共に議論や提案を行い、人的ネットワークを活かすことによって問題解決に取り組むことができる。

3 P-SEG Interactive への参加に向けて

P-SEG Interactive では、海外で実施する協働学習（派遣）、鹿児島で行う協働学習（受入）、オンライン上で行う協働学習（COIL）の3つの活動を組み合わせて継続的に参加しながら、在籍期間を通して海外の学生との交流を積み重ねていくことが重要です。



COIL

*Collaborative
Online
International
Learning*

COIL（コイル）は、オンライン国際協働学習という新しい学習方法です。海外連携大学と一つの授業を共有し、二カ国の学生が共通の課題に対して共に学びます。一方のオンライン講義とは異なり、教員は自分のクラスの学生だけでなく、連携大学の学生に対しても講義や助言を行います。学生たちは、双方向にプレゼンテーションや、ディスカッションを行います。対面で行う海外研修（Immersion Program）の事前・事後学習に COIL を用いることで、訪問先の情報を調べたり、研修後の総括や成果共有を連携校と協働で行うことができます。COIL には、同期型（synchronous）と非同期型（asynchronous）があり、時間と空間を超えて行うことができます。

例えば、1年の夏に海外研修（派遣）に参加する場合、海外をゲストとして訪問し、様々な学びを得て帰国します。帰国後それまでの生活に戻るのではなく、海外で知り合った人とのつながり（ネットワーク）や、自国を外から見る経験の中で獲得した視野を生かして欲しいと考えています。そのためには、1年の後期もしくは2年次に、受入プログラムに参加して、ホストとして海外の学生を迎える経験を持って下さい。他国でゲストとなり、自国でホストとなる経験を重ねる中で、他者を理解する力や自己を表現する力は育っていきます。ゲストとしてお世話になった恩を必ずしも同じ相手に返す必要はありません。派遣と受入の双方向交流を繰り返しながら、国や文化の違いを超えて互いに支えあう関係性を手に入れて下さい。プログラムへの参加を通して、皆さんは、言葉の壁はそれほど高くないことに気づくでしょう。相手を理解しようと心を砕くこと、相手のためにどれだけ自分の時間を使うことができるかなど、ごく当たり前の誠実な態度を国際交流において持つことが、本プログラム参加の条件になります。

4 P-SEG Interactive 推奨科目

「グローバル・イニシアティブ概論」

共通教育科目の海外研修の事後学習として開講されています。様々な異なる地域を訪れた学生が一堂に集まり、海外での体験を共有し合い、海外研修を通じた気づき、発見、学びを深めることを目的としています。海外研修の体験をベースに課題発見を行うグループ・ディスカッション、海外研修の成果を他者に伝えるプレゼンテーション、海外留学制度の紹介や留学に向けての具体的な準備を行います。

「Kagoshima de SDGs」I & II

受入プログラムとその事前・事後学習として高度共通教育科目で開講されています。海外学生との国際協働学習と、専門分野の異なる日本人学生との協働学習を行います。I. 講義編では、鹿児島をフィールドに SDGs17ゴールについて様々な観点から学びます。健康、農業、エネルギー、格差、教育、インフラストラクチャー、まちづくりなど、テーマは多岐に渡り、鹿児島の抱える課題や未来について考えます。II. 実習編では、海外からの受入プログラムの一環として、海外学生と本学学生とが、テーマごとに分かれ、鹿児島地域でフィールドワークを行います。その成果は、報告会を開催して全体で議論します。

5 語学プログラム

Intensive English Course

英語力の強化



コミュニケーション能力を高めたいと思う人に向けて、英語学習の機会を設けています。Debate & Discussion コースと、TOEFL コースを開講しています。いずれも初級、中級、上級に分かれており、各自のレベルに応じて選ぶことができます。放課後に実施しており、単位はありません。週1回90分、全10回の授業に出席する必要があります。また、希望者は自身の英語能力を確認するため、TOEFL 模擬試験を受験することができます。TOEFL は、英語圏の大学に留学を希望する人には必須の試験になりますので、準備のために模擬試験を活用して下さい。

グロスペ外国語

多言語・多文化交流の場



日本人と留学生の交流の場グロスペを、学習交流プラザ2階に設けています。グロスペでは、海外活動の情報を集約して掲示するとともに、先輩の留学報告「伝えよう！私の海外体験」や日本人学生と留学生が対等な関係で互いの言語や文化を学ぶグループ学修「グロスペ外国語」、「外国語 Speaking Lunch Table」等を行っています。また、留学生と行う楽しい学生企画も受け入れます。留学生と相談して国際協働プロジェクトに挑戦してみませんか。

海外研修・留学支援制度

鹿児島大学では、地域の企業等の寄付による「鹿児島大学『進取の精神』支援基金」によって、大学が認定したプログラムに参加する学生に対して、旅費の一部支援を行っています。さらに、日本学生支援機構（JASSO）の「海外留学支援制度」に採択されているものもあり、成績係数（GPA）や家計基準を満たす学生に対して、奨学金を支給しています。

学研災付帯海学への加入

プログラムに参加する学生は、海外での事故や病気に備えるため、「学研災付帯・海外留学保険」（略称：学研災付帯海学）への加入を義務づけています。学研災付帯海学は、「学生教育研究災害傷害保険」（略称：学研災）への加入を前提としているため、在学中に海外研修や海外留学を希望される方は、入学後、速やかに学研災に加入することをお勧めします。学研災は正課授業だけでなく、大学行事や課外活動中、通学途中の事故などにも対応しており、学生が教育研究活動中に被災した災害に対して必要な給付を行うものです。まずは、学研災に加入して日常の事故に備え、海外研修や留学に行く前には、さらに学研災付帯海学に加入する必要があります。

海外研修一覽

- 稲盛 稲盛アカデミー
- G グローバルセンター
- 共通 共通教育センター
- 法文 法文学部
- 医 医学部
- 歯 歯学部
- 農 農学部
- 水産 水産学部
- 獣医 獣医学部
- 理工 理工学研究所



対象 学年	科目タイトル	*表の見方
開講 時期	所属 担当教員	<input type="radio"/>
学部・ 大学院	連携大学・連携機関	派遣国
	プログラム概要 期間	

1-4 後期	海外異文化体験実習 (台湾の歴史と多様性を学ぶ)	
共通教育	G 森田 豊子	
	台湾国立成功大学・台湾国立高雄科技大学	
	台湾の文化的な多様性を知り、鹿児島との歴史的な深い繋がりを理解することを目的とする。先住民、台湾内省人、外省人、客家などの民族に加えて、日本統治時代の歴史、さらに「新移民」と呼ばれる東南アジアからの労働者の現状などの多様な現状を学ぶことを目的とする。【9日間】	

2-4 前期	グローバル実地研修	
高度共通教育	G 畝田谷 桂子	
	西オーストラリア大学	
	鹿児島市と姉妹都市の豪州パース市で5週間、一般家庭にホームステイしながら、豪州屈指の西オーストラリア大学英語教育センター(UWA, CELT)で午前に英語集中コースを受講し、午後は実地見学体験や現地学生との交流・学習補助、ボランティア活動、現地進出日本企業の見学等を行う。*受講要件あり【38日間】	

3 前期	国際関係論	
医学部専門	医 八代 利香 他	
	韓国 中央大学校赤十字看護大学・米国 Berea College	
	米国と韓国で地域保健医療関連施設を見学し、へき地医療の現状をグローバルな視点で再認識し、各医療専門職のあり方や課題を考察する力を強化する。①日米韓のヘルスケアシステムおよび医療専門職の役割の説明②リーダーシップが取れる専門職となるための国際コミュニケーション能力の獲得を目標とする。【10日間】	

1-4 前期	進取の精神海外研修 in ベトナム	
共通教育	稲盛 山口 明伸	
	稲盛アカデミーベトナム事務所・ベトナム社会科学院	
	ベトナムの歴史と現状とを直接体験し、困難に果敢に挑戦した鹿児島を始めとするわが国の先人たちの偉業と共に、世界に共通する進取の精神の重要性を理解する。政治、教育、農業、産業、工業の現状や課題を理解し、それら各分野における日本の関わりや役割を知ること、グローバルな視点と利他の精神の涵養を図る。【8日間】	

1-4 後期	国際感覚を持つバイテク人材育成	
共通教育	農 岡本 繁久	
	タイ モンクット王工科大学トンブリ校	
	バイオテクノロジー(以下、バイテク)に係るビジネス界において世界レベルで活躍できる人材の育成を目指す。研修では、参加学生にタイの農・食産業やそこで利用されるバイテク技術を見聞させる。親日国タイの歴史・文化及び日本との交流史を学ぶことで草の根レベルで両国の友好関係の発展を図る。【12日間】	

2-4 後期	海外インターンシップ	
高度共通教育	G 中谷 純江	
	サンノゼ州立大学・JABI (Japanese American Business Initiative)	
	将来国際的な場で活躍できるプロフェッショナル人材養成を目的とする4週間のコース。本学の北米教育研究センター(サンフランシスコ)が企画し、学生の受け入れを行う。米国シリコンバレーでのワークショップのほか、現地で就業体験(Unpaid Internship)を行う。【28日間】	

5-6 後期	選択実習プログラム	
医学部専門	医 下堂 園 恵	
	ソウル大学/ディボネゴロ大学/トロント小児病院/ミシガン小児病院マサチューセッツ総合病院/マインツ大学医療センター	
	医学科6年生は大学病院以外で臨床教授が在籍し指導できる県内もしくは海外の医療機関で臨床実習を行うことができる。①先進的な医療に接する、②異なる医療システムや体制を学ぶ、③臨床研究を学ぶ、④多様な民族的背景を有する患者や医療スタッフ、学生に接する、⑤途上国での医療を学ぶ、などを目的に付加する。【38~81日間】	

1-4 前期	海外研修基礎コース in カリフォルニア	
共通教育	G 中谷 純江	
	サンノゼ州立大学・Sebastopol World Friends	
	米国で「多文化主義」「格差と福祉」「グローバルイノベーションへの地域の挑戦」をテーマとする研修を行う。これらのグローバル課題について、米国社会の現状と対応を現場から学ぶ。サンフランシスコ、サンノゼ、ソノマ郡セバストポール市等を訪問し、一般家庭でのホームステイや市民との交流がプログラムの中心をしめる。【15日間】	

1-4 後期	社会システム・政策研究(タイ研修)	
共通教育	G 難波 美芸	
	ブーラー大学	
	日本との関係も深く、新興国として経済成長を遂げる中で、産業公害を含む環境汚染の問題や気候変動の影響を被りながらも、創意工夫を通して人々が遅く日常を送るタイ社会の現状を多角的に理解することを通じて、グローバル化する世界における課題を、日本での自己に関わる現実的な問題として捉える視点を養う。【13日間】	

1-4 前期	海外異文化体験実習 (イスラームの多様性を学ぶ)	
法文学部専門 全学部受講可	法文 酒井 佑輔 G 森田 豊子	
	トルコ アンカラ大学	
	ムスリムが多数派のトルコを訪問し、イスラーム理解とムスリムとの対話の経験を目的とする。イスタンブール、イズミール、コンヤ等を訪問し、トルコの歴史や文化を学ぶとともに本学協定校のアンカラ大学の学生や市民との交流を通してイスラームの多様性について学ぶ。【13日間】	

4 前期	海外歯科研修プログラム IV	
後期 歯学部専門	歯 西谷 佳浩・平間 雅博	
	台湾 高雄医学大学・香港大学	
	国際社会でも貢献をなす歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成を目的とし、中国(香港)、台湾の学生、教員と英語または現地語で交流することで、文化や宗教の異なる価値観に接し、社会システム、特に歯科医療システムの違いを学習して、日本国内では体験できないダイバーシティについて理解する。【5~9日間】	

1-4 前期	グローバル人材育成(米国ノースダコタ)	
共通教育	G 中谷 純江 共通 ニコライ・ギュレメトヴ	
	ノースダコタ州立大学	
	ノースダコタ州立大学(NDSU)に1ヶ月間滞在し、授業に参加しながら、グローバル・スタディーズ基礎科目及び各自の専門科目を学ぶことで、実際の留学と同じ環境を体験し、国際社会で学び、語学力を強化するとともに、将来活躍するために自分に何が欠けているかの「気付き」を得ることを目的とする。【34日間】	

1-3 後期	グローバル人材育成(雲南)	
共通教育	農 橋本 文雄	
	中国 華中農業大学・雲南農業大学	
	中国湖北省と雲南省で「進取の精神」或いは「国際的に役立つ資質」の育成、すなわち「人間力」養成の教育実践のため、華中農業大学および雲南農業大学の学生との双方向の交流を通じて対象課題の国際的関係や異文化を理解し、国際的環境での「日本」をより深く認識し、進取の気風にあふれる国際的能力を身につける。【13日間】	

2-3 前期	文化人類学実習	
法文学部専門	法文 兼城 糸絵・尾崎 孝宏	
	韓国 全北大学校	
	文化人類学のフィールドワーク教育の入門編。1.異文化体験から自身の文化的バイアスの自覚。2.文化相対主義的な視角の獲得。3.日韓の学生が事前に決めたテーマに沿った初歩的な社会調査の体験。4.日韓という枠組みにおける異文化理解への到達プロセスの特性について認識することを目的とする。【6日間】	

5 前期	海外歯科研修プログラム V	
後期 歯学部専門	歯 平間 雅博・西谷 佳浩 他	
	アイルラング大学・ブリティッシュコロンビア大学・マラヤ大学	
	国際社会でも貢献できる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成を目的とし、インドネシア、カナダ、マレーシアの学生、教員と英語または現地語で交流することで、文化や宗教の異なる価値観に接し、社会システム、特に歯科医療システムの違いを学習して、日本国内では体験できないダイバーシティについて理解する。【5~15日間】	

海外研修の流れ



1 説明会に参加・応募

2 事前学習・保険加入

3 渡航

4 事後学習・報告会参加

5 海外連携先との交流（受入・COIL）

2 前期
農学部専門

海外研修

農 坂上 潤一

インドネシア ポゴール農科大学

農学・水産学を背景に国際社会で活躍できる人材育成を目標に、英語のコミュニケーション能力強化と国際理解と基礎素養の習得を目指す。ポゴール農科大学での英語による農水産学科目の講義と英会話の実践、フィールドワークによる専門知識の習得、試験場やコーヒー等熱帯作物のプランテーションの視察などを予定。【14日間】

4 前期
農学部専門

卒業プロジェクト

農 坂上 潤一

ウガンダ ウガンダ国立作物資源研究所

持続的かつ安定した食料生産のための作物の初期育成を高める種子ブライミング技術の各種ブライミング処理とイネの萌芽・苗立ちの関係を明らかにし、最も適した播種方法の開発に向けた基礎情報の収集を目的とする。多様なフィールド試験データ収集から基礎研究の成果を応用し社会実装に貢献できる可能性が高まる。【87～90日間】

3-4 前期 後期
農学部専門

国際食創システム学 食と健康 / 食の安全 / 食料生産

農 侯 徳興

ノースダコタ州立大学・湖南農業大学

農 濱中 大介

オクラホマ州立大学・タイ メーフアンラン大学

農 後藤 貴文

テキサス A&M 大学・ジョージア大学・タイ チェンマイ大学

食と健康：中国湖南農業大学と鹿児島大学が米国ノースダコタ州立大学に集まり、英語での講義や研究発表、現地の食料生産農場や食品加工製造工場の見学を行う。これらを通じて気候変動に直面する世界の食の安全と人の健康をテーマに議論する。

食の安全：一般的な食品衛生学の知識ならびに食品安全に関連する規格基準の基礎的な内容を国際的な動向も踏まえつつ、英語での理解を目的とする。食品の安全に関する規制・管理が進むタイにおいて、GMP や HACCP をテーマに研修をおこなう。

食料生産：大規模で効率性重視の米国、脂肪交雑の高い霜降り肉を生産する日本、在来種と外国種を交雑して、農産物で出る副産物を活用した牛肉生産を行っているタイで、実際に牧場や食肉加工会社にて研修し、その状況を実際に把握するとともに、課題を抽出し、現地の学生と議論や意見交換する。【10～11日間】

4 前期
農学部専門

国際森林論

農 加治佐 剛

ドイツ ロッテンブルク林業大学・フィンランド自然資源研究所

ドイツとフィンランドの森林・林業・森林利用を見学し、森林環境教育、技術者育成、フォレストの役割と森林観、国際商品としての木材製品加工、地域活性化に向けた林産物生産、森林資源把握技術、林業の ICT 化、地域連携の事例を学ぶことで、国際的な視野をもち、地域の森林管理の中心となる技術者の育成を目的とする。【13日間】

2 前期
水産学部専門

実用英語（海外研修）

水産 石崎 宗周

フィリピン大学ヴィサヤス校

地域の農・水産関連産業の国際化や活性化に貢献できる人材育成を目的とし、1. 国際的理解の基盤となるコミュニケーション能力の向上、2. グローバル視点・途上国視点・地方視点による問題解決能力の向上を図る。連携校における講義と現地学生との交流など演習を中心に構成されるプログラムを実施する。SEAFEDC や JICA 事務所など関連施設の視察を行い、国際協力事業の実態と途上国のニーズや役割について学ぶ。【17日間】

1-6 前期 後期
共同獣医学部専門

国際獣医学インターンシップ A/B/C

獣医 白石 光也

ジョージア大学

獣医 三浦 直樹

台湾 国立中興大学

獣医 有村 卓朗

フランス VetAgro Sup・アルフォー獣医学大学

米国：ジョージア大学獣医学部（UGA）の附属動物病院での臨床ルーテーションに参加し、最先端の臨床実習を受ける。また、UGA の学生を本学での実習に受け入れ、両者の交流を継続し、深める。研修前後の英語でのオンライン講義による協働学習も行う。【18日間】

台湾：中興大学獣医学部の臨床獣医学実習に参加し、アジア特有の病気などその検査手技、診断・治療の手順や論理的思考について学ぶ。中興大学からも本学の動物病院に学生を受入れる。研修前後の英語でのオンライン講義も行う。【16日間】

フランス：VetAgro Sup とアルフォー獣医学大学へ学部生を派遣し、現地学生と一般実習や臨床ルーテーションへ参加するとともに、フランスの学生をこちらの臨床ルーテーションに受け入れ、海外の学生の目的意識や教育内容を体感することで、国際獣医療分野で活躍できる人材育成を目標とする。【10日間】

M1-2 前期
大学院オープン

STEM のための国際コミュニケーション 海外研修（GOES）

理工 富安 卓滋・ポウ コーザー

西オーストラリア大学附属英語学校・サンディエゴ州立大学附属語学学校・州立ニューヨーク・シティ大学附属語学学校

世界に貢献する「グローバル人材」の養成を目標とし、英語力とコミュニケーション力に加え、グローバルな視点に立脚した課題発見能力と問題解決能力獲得のために、大学院生向けに企画された質の高い語学学校のプログラムで、多様な学生と対面で直接、あるいはオンラインを介して英語で議論し、その過程で異文化理解を深める。【70～74日間】

M1 前期
大学院オープン

Tropical Fisheries

水産 石崎 宗周

フィリピン大学ヴィサヤス校

地域の農・水産関連産業の国際化や活性化に貢献できる人材育成を目的とし、1. 国際的理解の基盤となるコミュニケーション能力の向上 2. グローバル視点・途上国視点・地方視点による問題解決能力の向上を図る。連携校における講義と視察、現地学生とのショートリサーチ活動を含む交流などで構成されるプログラムを実施する。【12日間】

M1-2 後期
大学院オープン

国際バイテク・リーダー育成

農 岡本 繁久

タイ モンクット王工科大学トンブリ校

本研修では【新しいバイテク・ビジネス界で国際的に活躍できるリーダー人材の育成】を目指す。タイ研修を通して修士学生はタイの農・食産業やそこで使われるバイテク技術を見聞する。親国であるタイの歴史・文化及び日本との交流史を学ぶことにより草の根レベルで両国の友好関係の発展を図る。【12日間】

M1 前期
大学院専門（理工）

建築設計特別演習 I

理工 木方 十根

タスキーギ大学・ディボネゴロ大学

米国・タスキーギ大学が主催する建築ワークショップなどに参加し、都市環境の具体的な調査に基づいた建築設計手法を学ぶ。特に、タスキーギ市街地等を対象とした都市分析、課題抽出、および課題に対する建築提案を行う。インドネシア・ディボネゴロ大学を含めた三大学連携で、オンライン学習及び実施研修を行う。【10日間】

M1-2 前期 後期
大学院専門（理工）

国際学会特別研修

理工 金子 芳郎

ノースダコタ州立大学

ノースダコタ州立大学（NDSU）との合同シンポジウムに参加し、発表/ディスカッションを行うことで、将来国際的な場で活躍できる研究者・技術者となるような人材を養成することを目的とする。化学・生化学・生物学等を専門とする NDSU 教員の授業に参加し、ディスカッションを行うことで、英語による表現能力を養成する。【9日間】

M1 前期
大学院専門（農）

海外森林・林業事情

農 加治佐 剛

ドイツ ロッテンブルク林業大学・フィンランド自然資源研究所

ドイツとフィンランドの森林・林業・森林利用を見学し、森林環境教育、技術者育成、フォレストの役割と森林観、国際商品としての木材製品加工、地域活性化に向けた林産物生産、森林資源把握技術、林業の ICT 化、地域連携を学び、現地での交流時にリーダーシップを取ることで、国際的な視野を持つリーダーの育成を図る。【13日間】

M1-2 前期 後期
大学院専門（農）

国際食創システム学特論 食と健康 / 食の安全 / 食料生産

農 侯 徳興

ノースダコタ州立大学・湖南農業大学

農 濱中 大介

オクラホマ州立大学・タイ メーフアンラン大学

農 後藤 貴文

テキサス A&M 大学・ジョージア大学・タイ チェンマイ大学

食と健康：中国湖南農業大学と鹿児島大学が米国ノースダコタ州立大学に集まり、英語での講義や研究発表、現地の食料生産農場や食品加工製造工場の見学を行う。これらを通じて気候変動に直面する世界の食の安全と人の健康をテーマに議論する。

食の安全：基本的な食の安全に関する知識を有する大学院生が、国際基準（HACCP）や海外の現状を学び、国際標準の監査スキルを身に付け、将来、指導的な立場で活躍する人材へと成長する一助とする。

食料生産：牛肉生産に関して米国、アジア及び日本の共通点・相違点を高度に理解し、食のグローバルイゼーションの中で未来に向けての方策を高度に考える力をつけることを目的とする。アメリカ、日本及びタイという異なるスタンダードでの牛肉生産の実施国で、現地の大学院生と課題解決型リサーチ・プログラムを共同で実施する。【10～11日間】

Study Abroad Road Map

ここまで約1年+α
かかります

留学
したいな～



情報収集

- ・P-SEG 登録
- ・全学留学説明会
- ・留学相談

伝えよう!
鹿大生の
海外体験



留学応募

留学候補生
決定!



留学要件達成
がんばるぞ



事前学習

- ・ネットワーキング
協定校からの留学生や
先輩・同期留学生との交流
- ・留学目的、計画の深化
- ・語学力と GPA の UP!
- ・日本、鹿児島、専門の勉強 ...

入学許可書
ゲット



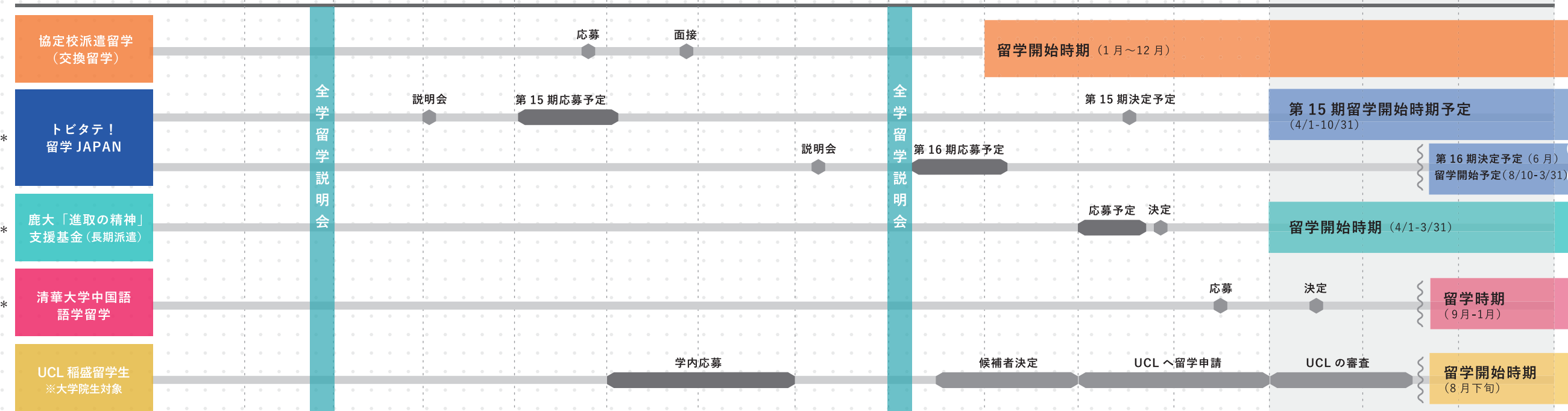
留学準備

- ・留学手続き
- ・ビザ申請
- ・航空券
- ・保険手続き

いざ、出発!



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月



* 2019年度 (コロナ禍前) の日程を記載しています。2022年度は未定です。

留学情報検索ワード

鹿児島大学 派遣留学

学術交流協定校への派遣留学制度

トビタテ

トビタテ! 留学 JAPAN
日本代表プログラム

鹿大 進取の精神 留学

鹿児島大学「進取の精神」支援基金
学生海外派遣事業 (長期派遣留学)

鹿児島県 清華大学

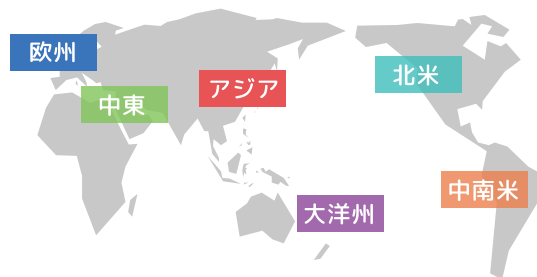
鹿児島県清華大学留学支援奨学金奨学生
清華大人文学院対外漢語教育センター語学留学

鹿大 UCL 稲盛留学生

鹿児島大学 21世紀版
薩摩藩英国留学生派遣事業 UCL 稲盛留学生

学術交流協定校との双方向交流 2018-2020 年度実績

本学と海外の学術交流協定校（以下、海外協定校）との間では、双方向の学生交流（派遣と受入）が行われています。海外協定校から本学に来ている留学生には、1 年未満の比較的短期滞在の人たちが多く、本学での留学期間を終えると在籍大学へ戻ります。彼らの留学期間中には鹿児島大学で、帰国後には相手国で交流することができます。また、2020 年度からはオンラインによる交流にも力を入れています。様々な交流機会がありますので、グローバルセンターや学部の協力教員に相談してください。特に留学を希望する学生は、先輩や同期など派遣留学生同士の交流は重要です。



🔍 鹿児島大学学術交流協定校



鹿児島大学の学術交流協定校 172 機関のうち、交換留学が可能な大学は、大学間協定（全学の学生が留学可能）83 校と部局間協定（当該学部の学生のみ留学可能）48 校あります。留学先を考える参考にしてください。

国	協定校	対象学部	連携教員 留学相談、留学生受入等	派遣			受入		
				2020	2019	2018	2020	2019	2018
インドネシア	ディボネゴロ大学*	全学	医・花谷 / 工・木方	4			20	4	4
	アングラス大学	全学	農・鶴川				2	2	
	ボゴール農科大学	全学	農・坂上	6			10		
	アイルランガ大学獣医学部	獣医	獣医・大和					2	
タイ	カセサート大学	全学	水産・江幡		2	2	1	1	
	国立モンクット王トンブリ工科大学	全学	農・岡本					2	
	メーファールアン大学	農	農・濱中				39	2	
韓国	釜慶大学校	全学	水産・江幡				2	1	
	全北大学校	全学	工・木方 / 法文・尾崎	14		2	15	3	
	群山大学校	全学	法文・中島（祥）				4		
	江原大学校	全学	農・中西				2	4	
	祥明大学校	全学	法文・中島（祥）				1	3	
	江陵原州大学校	全学	法文・中島（祥）				1	4	4
	木浦大学校	全学	法文・萩野				2	1	
	忠北大学校	全学	農・坂上						1
	中央大学校	医	医・八代	44			28		
	中国	湖南大学	全学					3	3
湖南農業大学		全学	農・侯		1		3	3	
重慶大学		全学	法文・中島（祥）		1		3	3	
雲南農業大学		全学	農・橋本 / 法文・片桐	7			7	1	
華東政法大学		全学	法文・大野			1	2	1	
南京工業大学		全学	教育・上谷				4	6	
山東師範大学		全学	法文・尾崎				3	3	
東北大学		全学	工・余				3	2	
東北師範大学		全学					2		
中南大学		全学	医・田川				4	2	
中国医科大学		全学	医・田川				2	3	
湘潭大学		全学	教育・梅崎		1	1	4	4	
上海海洋大学		全学	水産・加藤				2	1	
大連海事大学		全学	法文・松田				2	5	
四川大學錦江学院		全学	農・高峯				1	2	
内モン古師範大学		法文	法文・尾崎				3	3	
上海海事大学外国語学院		法文	法文・丹羽				3		
長江大学外国語学院		法文	法文・尾崎				2		
海南大学外国語学院		法文	法文・尾崎				2	3	
徐州医科大学		医	医・田川				1		
大連海洋大学	水産	水産・江幡					1		

国	協定校	対象学部	協力教員 留学相談、留学生受入等	派遣			受入		
				2020	2019	2018	2020	2019	2018
バングラデシュ	チッタゴン獣医動物科学大学	獣医	獣医・大和						2
	フィリピン	フィリピン大学	全学	水産・石崎 / 獣医・三浦	69	1	38	1	
フィリピン	フィリピンポリテクニク大学	法文	法文・西村		1	2		2	2
	ベトナム	ハノイ貿易大学	全学					2	1
ベトナム	ベトナム国家農業大学*	全学	農・岡本						1
	ダイグエン農林大学	獣医	獣医・中馬					1	
	マレーシア	マレーシアプトラ大学	全学		3				
台湾	国立成功大学	全学	工・金子 / G・森田	35			77	3	3
	国立中興大学	全学	獣医・三浦	14	1		3	4	3
	国立高雄大学	全学	法文・福永					1	1
	国立高雄科技大学	全学	水産・安楽					2	2
	国立台北教育大学	教育							2
	高雄医科大学	歯	歯・西谷				13		
オーストラリア	ニューイングランド大学*	全学	法文・コーダ		2	2			2
	シドニー工科大学*	全学	法文・コーダ		2	2			3
アメリカ合衆国	ジョージア大学*	全学	農・ヒツシャム / 獣医・三浦 / 法文・コーダ	14	1		1	1	1
	サンノゼ州立大学*	全学	G・中谷 / 法文・竹内	46		2	37	1	
	ハワイ大学マノア校	全学	G・畝田谷	12			5		
ブラジル	アマゾナス連邦大学	全学	法文・酒井		1		1	1	1
スウェーデン	リンシェーピング大学*	全学	法文・コーダ		2	1			
スペイン	バレンシア工芸大学*	全学				1			
スロバキア	スロバキア農業大学	全学	農・ヒツシャム / 法文・西村		1	2			
ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク	全学	教育・内ノ倉 / 法文・竹岡		2	2		2	3
	ボン大学	教育			2	1			1
	ロッテンブルク林業大学*	農	農・寺岡	5					1
	ミュンヘン大学	法文	法文・中島（大）		2	2		1	1
ノルウェー	トロムソ大学	水産	水産・佐野（雅）				1		
フランス	レンヌ第2オート・ブルターニュ大学*	全学	法文・梁川		2	1		2	2
	ボルドー・モンテーニュ大学*	全学	法文・梁川		3	2		2	2
	欧亜高等管理学院	法文	法文・梁川		2				
イタリア	フィレンツェ大学	法文 / 工	法文・藤内 / 工・鯉坂		1				
トルコ	アンカラ大学	全学	教育・上谷 / 法文・石田 / 獣医・三浦 / G・森田				1	3	1

注1) いくつかの協定校*は、応募条件に語学基準を設けています。留学に必要な資格試験（英語）についての相談を法文・コーダ教員が行っています。グローバルセンターに問い合わせ下さい。注2) 2020 年度の派遣・受入数には、実渡航だけでなくオンライン交流数を数えています。



Intensive English Course

独学で TOEIC900 点を超えたため、自信を持って TOEFL も独学で臨みました。しかし、難易度の高い単語、TOEIC とは異なり、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの四技能が求められるなど、開始早々独学では厳しいことに気づき Intensive English Course を受講しました。講義では TOEFL に求められる語彙力、TOEFL ならではのテスト形式に対応した対策などが先生の分かりやすい説明と共に学べるため受講して本当に良かったと感じました。また、受講者は英語学習に高い意識を持った学生達が集まるため、周りに英語学習をしている人がいない方にとっては、モチベーションがアップする場所になると思いますのでぜひ参加してみてください！

写真はロンドンに一人旅に行った際の写真です。英語は行動範囲を広げ様々な経験を与えてくれるので本当におすすめです。

法文学部 岩森悠



協定校派遣留学

協定校派遣留学制度で採択され、シドニー工科大学へ留学予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大のために延期となっております。そこで、私は 2021 年 3 月に「Connect4」というグループを立ち上げました。グループ活動として西オーストラリア大学の学生と鹿児島大学の学生で 1 時間ほどのディスカッションを、毎週 1 回程 Zoom を用いて実施しています。「英語の勉強したいけど留学生いないし、困ったな」と友人に言われた事がきっかけでこのプログラムを行うことにしました。留学が思うようにできない今だからこそその取り組みだと思っています。来年こそは留学できることを期待しています！来年も西オーストラリア大学とのグループ活動は実施予定です。今後も参加者を募集するので、興味のある方は是非参加してみてください！

農学部 中村太一

グロスペ外国語

私は、英語を話す機会を増やそうとグロスペ外国語に申し込みました。少人数で、毎回たくさん自分の意見や気持ちを英語で話す事が出来たので、自分がどれくらい思っていることが言えるのかがわかり、次までもっとたくさん事を話したいと思えるようになりました。英語学習へのモチベーションも上がりました。留学生 1 人が先生になり、学生は自分も含めて 2 人で、全員学生なので学校の話や授業の話で共通点が多く話しやすかったです。学年も学部も違う友達が出来ました。留学生の母国にも興味がわき、おすすめの場所や食べ物なども聞いたり調べたりして、英語以外に興味のある分野が増えました。英語に限らず多くのことを学べる点もグロスペ外国語に参加して良かった点だと思います。

法文学部 西田優樹



▲トビタテ!生の顔写真で作られた絵葉書

トビタテ! 留学 JAPAN & 台湾とのオンライン授業

「トビタテ! 留学 JAPAN」奨学金に採用され、今年デンマークへ留学する予定です。高校 2 年次のイギリス短期留学を通して見えている世界が鮮明になり、様々な考え方の人と出会うことで物事をのびやかにとらえられるようになりました。さらに、胸の奥にある思いと向き合う大切さを知り、デンマーク留学を志しました。大学入学後、不安もありましたが「不安や迷いよりも、やりたい気持ちが大きくなれば挑戦したらいいと思うよ」という先輩の言葉に背中を押されました。トビタテ! は、期間や時期も自分で決められるため、実習が多い学部や初海外を目指す方でも挑戦できます。

今年度の台湾国立中央大学とのオンライン交流にも参加しました。プログラムタイトルに沿うテーマを自分たちで設定し、一か月後の最終発表に向けて準備しました。私たちのグループは、台湾と日本の学生 3 人ずつで構成され「鹿児島島の黒糖と台湾屏東のココアでコラボ商品を作り、地方創生をする」というテーマで進めました。週に 1 回グループディスカッションでは、台湾の学生は相手の意見を踏まえて自分の意見を論理立てて話すのがとても上手で、自分自身の英語勉強に対する刺激になりました。

みなさんの思い描く留学・国際交流の形はそれぞれ違うと思いますが、鹿児島大学には一緒に考えてくださる先生方や先輩方がいらっしゃいます。安心して一歩前に踏み出してみてください。

医学部 北里梨歩



ハワイとのオンライン授業

私は、今年度ハワイオンライン研修と大崎町への国内実習に参加しました。オンライン研修では、甲南大学の学生とハワイ大学の学生とオンライン上で交流し、ハワイの言語や歴史、伝統、そしてハワイで起きている環境問題や再生可能エネルギーについて学びました。様々な地域の学生や先生との学びを通して、多くの発見や刺激を得ることができました。英語で臆せずに質問する学生や、活躍している同年代をのぞいて自分も頑張ろうと思えたり、先生の何気ない一言が今でも役に立っていたりします。また、甲南大学の学生と協力して課題に取り組む経験は、大変ではありましたが大きな達成感が得られました。自宅にいながら英語漬けの 5 日間を送ることができ、とても貴重な体験でした。

Kagoshima de SDGs

次に、環境問題を考えるための 1 泊 2 日の大崎町実習はとても興味深いものでした。事前学習ではごみ収集やごみの処理について学ぶことを通して、普段出している「ごみ」について深く考えることができました。また、SDGs のワークショップが開催され、社会問題や SDGs を考える上で何が大事なのかを身をもって感じる事ができました。事前学習を踏まえて実際に大崎町へ行き、どのようにしてリサイクル日本一になったかについて学びました。ごみ分別を体験し、ゴミ処理施設等を実際に見ることは、どのような工夫がなされているのかをリアルに感じる事ができ、とても楽しいものでした。大崎町役場の方の熱意も印象深く、素敵な方々に出会うことができました。

工学部 妻形華梨

